

CT 検査でのヨード造影剤使用についての説明と同意書

【造影剤を使用する目的】

今回実施する検査では、ヨード造影剤を使用します。造影剤を使用することにより目的とする病変が明瞭になり、病変についての詳しい画像情報を得ることができます。

【造影剤の使用方法】

造影剤は静脈注射ないしは動脈を穿刺して注入します。造影剤を注入する際には熱感があります。

【食事の注意】

食事の制限はありませんが、造影時にまれに嘔吐を伴う場合があるため軽い食事をお勧めします。水分は多めにお取りください。お薬は飲んでいただきますが、糖尿病薬の様な食事に関連するお薬は主治医の指示に従ってください。

【起こりうる副作用】（添付文書から抜粋）

(1) 頻度は少ないが起こると重大な副作用

- 1) ショック（0.1%未満）：意識消失、呼吸停止、心停止
- 2) アナフィラキシー様症状（0.1%未満）：急性で重篤な呼吸困難、のどや顔のむくみなど
- 3) 腎不全（頻度不明）

(2) 軽症ですがやや多く見られる副作用（0.1～1%未満）

じんましん、血圧低下、咳、頭痛、吐き気ないしは嘔吐、胸腔苦悶感、など

(3) まれに数時間以上経って出現する副作用もあります。異常を感じられた場合は、担当科まで御連絡下さい。

【禁忌：投与してはいけない方】

ヨードまたはヨード造影剤に過敏症の既往歴がある方
重篤な甲状腺疾患のある方

【原則禁忌：原則として使用しませんが、病状により必要な場合は慎重に使用することがある方】

- 1) 一般状態の極度に悪い方
- 2) 気管支喘息の方
- 3) 重篤な心障害のある方
- 4) 重篤な腎障害のある方
- 5) 急性膵炎の方
- 6) マクログロブリン血症の方
- 7) 多発性骨髄腫の方
- 8) テタニーのある方
- 9) 褐色細胞腫の方

【薬物相互作用】

一部の糖尿病薬（ビグアナイド系）を服用していると、副作用が増すことがありますので、糖尿病治療を行っている方は主治医の指示に従ってください。

【授乳中の方】

母親に投与された造影剤のごく一部が母乳へ移行するといわれています。お子様に影響が出ることは少ないと思われませんが、可能ならば投与後数日は人工乳への切り替えをお勧めします。

【副作用への対応】

はじめて造影剤を使用する場合は副作用を予見することはできません。上記のような異常が生じた場合は必要な処置を迅速に行いますが、場合によっては緊急の入院管理が必要となることもあります。

説明日： 年 月 日

貴医療機関名

:

科 説明医師：

私は、上記説明を受け理解しましたので、造影剤使用に同意します。

同愛記念病院 院長 殿

年 月 日

患者氏名

印 ※署名がある場合は押印不要

家族等氏名

印 （患者との続柄 ）

※患者の署名がある場合は家族等の署名は不要

※患者が署名不能な場合や未成年の場合には家族等の署名が必要